

国際交流会が開催される

6月15日(水) アセンブリーアワーに国際部委員会主催の「国際交流会」を開催しました。本学には現在、15の国・地域から274名の外国人留学生在籍しています。留学生間また留学生と日本人学生間の交流促進を目的とした「国際交流会」を開催しました。

自国の民族衣装を身にまとった留学生たちは、自国語での挨拶から発表をスタート、写真を用いながら食文化や名所を紹介しました。ゲーム形式で正解者はベトナム生春巻きを試食できるベトナムの発表、日本人学生がチャイナドレス試着に挑戦した中国の発表、軍服を着た韓国人留学生による韓国の兵役・体験談など、観衆との対話を持ちながらの工夫溢れる発表で、大変盛り上がりのある交流会となりました。会場には120名以上の教職員が出席、立ち見がでるほどでした。留学生の出身国紹介後は、軽食を食べながら歓談の時を持ちました。新入留学生が同郷の留学生を見つけたり、日本人学生が留学生に話し掛けている姿を目の当たりにし、この会の目的を達成できたと感謝をしつつ、閉会しました。



15の国・地域の発表内容(発表順)

- ① 韓国 食べ物、兵役、韓国について誤解されていること(整形)
- ② 中国 中国クイズ、チャイナドレス
- ③ 香港 国紹介、香港の夜景、トラム
- ④ 台湾 台湾のグルメ・朝食、交通、行事
- ⑤ ミャンマー ミャンマーの部族
- ⑥ タイ 国紹介、観光地、グルメ
- ⑦ ベトナム 国紹介、春巻き試食クイズ
- ⑧ マレーシア 国紹介
- ⑨ インドネシア 国紹介
- ⑩ ネパール 寺院、国花、グルメ、ルンビニ
- ⑪ スリランカ 国紹介
- ⑫ バングラデシュ 食べ物、民族舞踊
- ⑬ イラン 名所(イスファハン)、食べ物
- ⑭ ガボン 国紹介、食べ物
- ⑮ ベナン 国紹介、食べ物、ベナンの風景

目次:

国際交流会が 開催される	P 1
海外研修報告	P 2
児童学海外研修 ティーンズ大学研修	
人間福祉北欧研修 報告	P 3
留学生 ホームビジット	P 3
タウンラさん 日本語弁論大会で 文部科学大臣賞を 受賞	P 4
留学生在籍状況 お知らせ 行事予定	P 4



中国のトウさん、ガンさん、サイさん
によるチャイナドレスの発表・試着



ネパールのイングナムさんと
タバさん 日本人の友人たちと



ゲナムさん、ドマンさん、グイムさん
によるベトナム生春巻きの試食



タイの民族衣装を着た
プローイさん



韓国の兵役の軍服(キムさん)、
チマチョゴリ(チエさん)
人間福祉学科の先生と



ベナン出身のヌチャさんの発表



食事を食べながら歓談

2011年度春期海外研修報告

オーストラリア フлиндダース大学での第11回児童学海外研修

2011年2月12日～3月13日の4週間、児童学科対象の第11回児童学海外研修が実施され、児童学科の14名が参加しました。この研修では、オーストラリア・南オーストラリア州アデレード市フлиндダース大学(The Flinders University) IELIと協力し、幼児教育の語彙、概念、歌、遊び、工作を英語で学び、実際に幼稚園や小学校を訪問・実習しながらオーストラリアにおける幼児教育を学ぶプログラムです。

留学で得た 課題と経験

児童学科2年 並木 晃文さん



私は今回、初めて海外に行き、ホームステイを体験しました。初めは英語を聴き取る事が精一杯で会話ができませんでした。時間が経つうちに聴き取れ、会話ができるようになり、フлиндダース大学の学生と友達になれる程になりました。

研修中に訪問したチャイルドケアセンターでは、先生が子どもに対応する時、「NO」とは言わずに子どもの意思を尊重しており、たとえ「NO」の状況であっても、子どもの気持ちをうまく変え、正しい方向へ導いていたのが印象に残っています。

帰国してから日本の幼稚園を見学しましたが、日本の先生や園児はキビキビしていて規則正しいと思いました。私は、オーストラリアの大きさと日本の細やかさを持った、2つの国の良いところを生かした先生になりたいと思っています。

日本の考え方しか知らなかった私の考え方や人生観は、オーストラリアと日本の生活スタイル、文化、教育の違いを知り、大きく変わったと思います。



チャイルドケアセンターにて



フлиндダース大学IELIにて
修了証を授与

課外活動

- ・ 小学校、チャイルドケアセンターでの訪問・実習
- ・ カンガルー島への1泊旅行
- ・ ビクターハーバー日帰り旅行
- ・ アデレードヒルズとムレー川日帰り旅行
- ・ グレネルグ・シーサイド・リゾート
- ・ ホストファミリーとビーチピクニック
- ・ ウォータースポーツ
- ・ ハンドロフ農場見学



- ・ シティーツアー
- ・ お別れパーティー等

オーストラリア ディーキン大学研修

2011年2月8日～3月20日の41日間、オーストラリア・ビクトリア州メルボルン市にあるディーキン大学附属英語学校 Deakin University English Language Instituteにて、英語研修・ホームステイを実施しました。

友人と意欲という財産を得た留学

欧米文化学科3年 奥ノ木 萌さん

私は、ディーキン大学の中でレベル分けされたクラスの中でも英語が理解できない方ではありましたが、私のクラスは仲が良く、中国、韓国、ベトナム出身の学生達とバーベキューをしたり、街に遊びに行ったりと様々な事を共にすることができました。研修中、3月11日に起こった東日本大震災のニュースを知った時には、クラスメートが日本人全員のことを心配し、声を掛けてくれました。出会った友人たちとの出会いから、様々な国の人に出会い、多様な考

えを知りたいと思うようになりました。私は、人と会話をするのが好きですが、母語である日本語を使うのみでは、日本人の考え方しか知ることができません。英語を上達させることのみならず、他の言語も勉強したいと思うようになりました。私がこの研修で得たもの、それは「友人」と「意欲」です。さらに英語を話せるようになりたい、様々な国の人と話してみたい、色々な場所に行ってみたい。初めて行く土地で知らない事に出会うことでマイナスになったことはひとつもありませんでした。マイナスになったとしても次の機会にプラスへと変えることができるからです。



各国から集まったDUELLIの友人たち



聖学院大学の参加者と(左前が奥ノ木さん)



グレートオーシャンロードの奇岩群
The Twelve Apostles

フィンランドとエストニアでの人間福祉北欧研修

2011年3月6日～3月13日の8日間、人間福祉学科主催の人間福祉北欧研修が実施されました。毎年、福祉先進国である北欧において研修を実施しており、今回はフィンランドとエストニアにおいて小学校、精神障害ケアハウス、高齢者ケアセンター、プレーグラウンド、ホームレスケアセンター等を訪問しました。

人間福祉学科 3年

片野 梨沙 さん

今回のような研修の形でなかったら、フィンランドやエストニアを訪れることはなかったと思います。

フィンランドに到着して右も左もわからないうちに、自由に食事を取ることになった時は不安でしたが、言葉がよく分からない学生でもなんとかなるくらい治安は良いところでした。想像していたよりは寒くなく、気候にはすぐ慣れましたが、つるつるとすべる地面に慣れるのは苦労しました。

私は、児童福祉関係に進みたいと思っているので、児童に関する施設を訪れることができて良かったです。特に現地の子どもたちと交流を持てたことが印象に残ってい



ます。プレーグラウンド見学後、残りたい人は残ってよいと言われ、私と友人が残り、雪を掘って子どもたちと遊びました。途中でお手洗いにいきたくなり、しおりに書いてあったフィンランド語でその旨を伝えると、子どもたちはすぐに場所を教えてくれ、その時は意思疎通ができたことに感動しました。自由時間には、観光、スケートや買い物に行ったりと日本では体験できないことをたくさん経験することができました。

研修中、日本では深刻な地震が起き、家族に連絡がつかず、帰ることができるか分からない状況になり大変不安でしたが、引率の先生等が研修に集中できるように配慮してくださいました。フィンランドはとても温かいところでした。また行きたい、と思える素敵な研修でした。



カーリシルタ学園で頂いた昼食の様子

施設見学



ホームレスケアセンターで説明



フィンランドの一般家庭での夕食の様子



おいしい家庭料理を頂きました

フィンランド・ヘルシンキ

エストニア・タリン



ヘルシンキ大聖堂



シベリウス公園のモニュメント前での集合写真



タリンの町並み



旧タリン市庁舎前での集合写真

日本の家庭に行ったこと、ありますか？ホームビジット報告

2011年6月25日、さいたま市国際交流協会主催のホームビジットに本学の留学生3名が参加しました。意外な事に、日本に來日して長い年数が経っている留学生でも「日本の家庭に行ったことがない」との声をよく耳にします。ホームビジットは、日本の家庭を訪れ、夕食をご馳走になり、日本の家庭を体験できるプログラムです。



ホームビジットに参加して

欧米文化学科 1年（韓国出身）

クワン・クック (Kwon Kook) さん

私は、日本人の家族と1日を過ごすホームビジットに参加しました。私を招待して下さった家族は、さいたま市に住んでいるご夫婦とお子さんのいる家族でした。日本人の家族は優しく、日本の家や伝統の料理について説明してくださいました。古い建物を見て、どうやって建てられたか、何をやる建物だったか

など、色々なことを教えてもらいました。ホームビジットに参加して、日本人の生活について分かる、良いチャンスだったと思います。日本の色々なことについて知りたい人にお勧めです。



タウンラさんが日本語弁論大会で 文部科学大臣賞を受賞

2011年6月11日(土) 財団法人国際教育振興会、国際交流基金主催による「第52回外国人による日本語弁論大会」が開催され、欧米文化学科2年のタウンラさん(ミャンマー出身)が文部科学大臣賞を受賞しました。全国から74名の応募があり、予選審査を通過した12名が熱弁を奮いました。多くの社会人が出場する中、タウンラさんは現役大学生として唯一の出場者でした。テーマは、「私の異文化体験—愛の伝え方」。タウンラさんは昨年、本学内で行われた第8回留学生日本語弁論大会で学長賞を受賞し、全国規模の大会には初挑戦でしたが、堂々とした弁論で再び栄冠を手にしました。



大会の様子が7月17日(日) 22時から22時59分にNHK教育テレビ(ETV特集)にて放映されました。

学内での弁論大会のお知らせ

■11月19日(土) 13:30~17:00
第7回英語スピーチコンテスト
〔高等学校在校生向け〕
テーマ「希望—HOPE—」
スピーチ部門、暗唱部門あり



■12月7日(水) 11:00~12:30
第9回聖学院大学留学生日本語弁論大会
テーマ(予定)
「世界の中の日本—私のイメージ」
「私の異文化体験」「未来の私」
「私の主張」

■12月14(水) 11:00~12:30
第5回聖学院大学英語スピーチコンテスト
テーマ(予定) “My Image of Japan in the World” “My Cross-Cultural Experience” “My Future” “My Beliefs”

2011年度外国人留学生国別在籍状況

	国籍名	合計
1	中国	191
2	韓国	25
3	ベトナム	8
4	台湾	7
5	ネパール	4
6	マレーシア	4
7	スリランカ	2
8	ミャンマー	1

	国籍名	合計
9	イラン	1
10	インドネシア	1
11	英国	1
12	ガボン	1
13	タイ	1
14	バングラデシュ	1
15	ベナン	1
2011年度8月1日現在		249



お知らせ・イベント

- 9月 秋入学式
秋の留学生ガイダンス
- 10月 夏期海外研修報告会
春期海外研修説明会
提携校交換留学説明会
- 11月 春期海外研修締切・面接
留学生日帰りツアー
- 12月 第5回英語スピーチコンテスト
第9回聖学院大学留学生日本語弁論大会
春期海外研修 事前準備講座
- 1月 春期海外研修準備講座
- 2月 春期海外研修出発
- 3月 春期海外研修帰国
留学生ガイダンス



SEIGAKUIN
UNIVERSITY

聖学院大学 学生支援部

国際交流課

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号 8号館1階

TEL 048(725)2801 FAX 048(781)0094

Email: kokusai@seigakuin-univ.ac.jp

窓口受付時間

月 9:00~16:00 火~土 9:00~11:30, 12:30~16:00